

通級による指導を必要とする全ての子どもたちのために

～「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」の取組～

北海道教育庁学校教育局特別支援教育課

1 本道における通級による指導の充実に向けて

本道において通級による指導を受ける児童生徒数は、令和2年度の6,257名から令和6年度の8,336名へと約1.3倍になり、増加傾向にあります。一方で、「通級による指導を受けることが必要と思われるにも関わらず、様々な理由により受けていない児童生徒が存在している可能性がある。」ことが、国の報告で指摘されています。

また、通級による指導を担当する教員には、障がいの特性等に応じた指導や児童生徒一人一人の実態に応じた多様かつ柔軟な指導方法などの専門性を有するとともに、通常の学級担任等への助言・提案力が求められている中、本道においては、経験の浅い教員が通級による指導を担当することも少なくありません。

道教委では、こうした課題の解決を図るため、広域分散型である本道の地域性を踏まえ、市町村教育委員会及び学校等と連携しながら、通級による指導の「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」（以下、「本事業」という。）を推進しています。

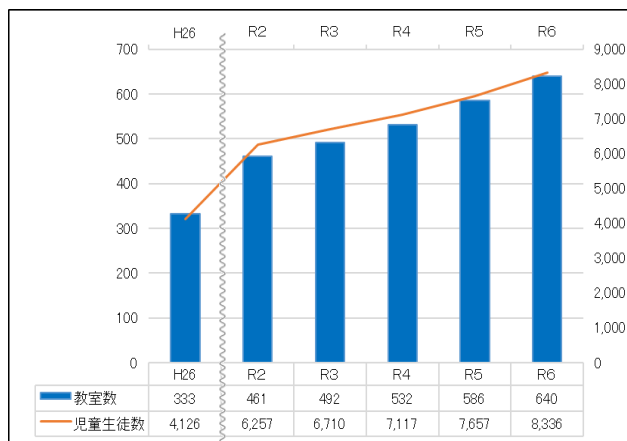


図1 小・中学校に設置している通級指導教室数及び児童生徒数の推移（北海道）

2 本事業の概要

道教委では、本事業を「通級指導教室の設置拡充」と「通級指導担当教員の専門性向上」の2つを柱にして取組を推進しています。

通級指導教室の設置拡充の取組では、通級指導教室が未設置の市町村や学校において、通級による指導を必要とする児童生徒が指導を受けられるよう、14管内全てに巡回指導リーダー教員（以下、「リーダー教員」という。）を配置し、通級指導教室が未設置である近隣の学校（巡回先校）を訪問し通級による指導を行いました。また、巡回先校において、リーダー教員が通級による指導に関

わる理解啓発を行い、自校通級の設置を促進するとともに、未設置の学校や市町村に対して設置に向けた働き掛けを行っています。

通級指導担当教員の専門性向上の取組では、年間を通した研修を行い、リーダー教員の専門性の向上を図るとともに、すでに通級指導教室を設置している学校を連携校に位置付け、リーダー教員が訪問して経験の浅い通級指導担当教員を支援しています。

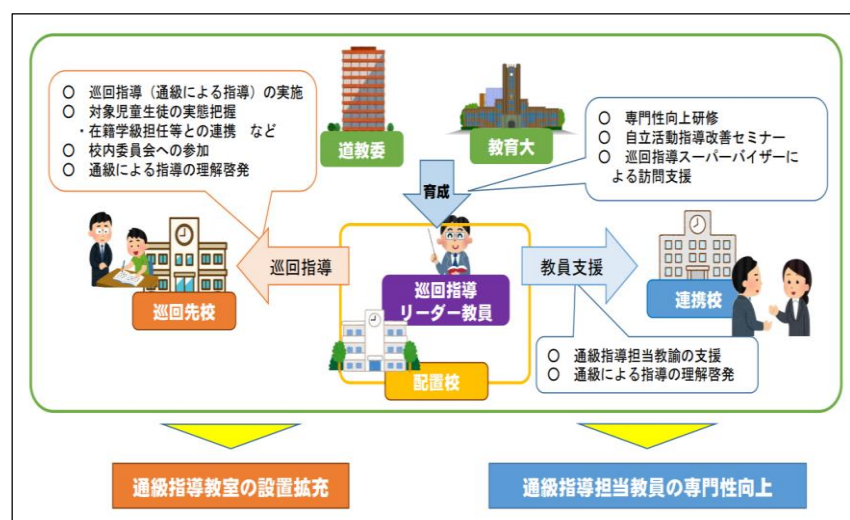


図2 本事業の概要を示した図

3 取組の柱1「通級指導教室の設置拡充」

リーダー教員による巡回指導の実施により、これまで通級による指導が実施されていない、又は他校通級のみであった市町村や学校に新たに通級指導教室を設置することができました。

リーダー教員や巡回先校からは、「教員や保護者の通級による指導に対する理解が深まり、指導を希望する児童生徒が増えた。」「これまで他校通級を利用していたが、自校で指導を受けられ、保護者による送迎の負担が軽減した。」などの声が寄せられました。

今後に向けては、こうした取組の成果や課題を整理し、通級指導教室を設置していない市町村へ普及することで、一層の設置拡充を進めていきます。

表1 巡回指導リーダー教員配置校と巡回先校一覧

管内	配置校	巡回先校	連携校	管内	配置校	巡回先校	連携校
空知	滝川市立滝川第三小学校	滝川市立滝川第一小学校 滝川市立江陵中学校	滝川市立東小学校	檜山	今金町立今金小学校	今金町立種川小学校 今金町立今金中学校	
石狩	当別町立とうべつ学園	当別町立西当別小学校 新篠津村立新篠津小学校		上川	富良野市立富良野東中学校	富良野市立富良野西中学校	富良野市立扇山小学校
後志	余市町立沢町小学校	余市町立黒川小学校		留萌	留萌市立東光小学校	留萌市立緑丘小学校 留萌市立潮静小学校	留萌市立留萌小学校
胆振	伊達市立伊達小学校	洞爺湖町立蛇田小学校 洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校	伊達市立東小学校	宗谷	稚内市立潮見が丘小学校	稚内市立潮見が丘中学校	豊富町立豊富小学校 浜頓別町立浜頓別小学校
日高	新ひだか町立高静小学校	新ひだか町立静内小学校 新冠町立新冠小学校		十勝	北見市立小泉小学校	北見市立小泉中学校	北見市立南小学校
渡島	北斗市立大野小学校	北斗市立荻野小学校 北斗市立市渡小学校 北斗市立谷川小学校	北斗市立大野中学校 北斗市立上磯小学校	十勝	帯広市立花園小学校	帯広市立大正小学校 帯広市立川西小学校	帯広市立豊田小学校 鹿追町立鹿追小学校
				釧路	釧路町立富原小学校	釧路市立鶴居小学校	厚岸町立真龍小学校
				根室	中標津町立中標津小学校	中標津町立中標津中学校	中標津町立丸山小学校

4 取組の柱2「通級指導担当教員の専門性向上」

リーダー教員はもとより、全道の通級指導担当教員の専門性向上に向け、年間を通して、オンラインとオンデマンドを組み合わせた研修を行っています。研修会には毎回100名以上、8回目までに延べ1,000名以上の教員等が参加しており、通級指導担当教員の研修に対するニーズの高さがうかがわれました。研修会の後半には毎回、リーダー教員を対象に、児童生徒の実態から必要なアセスメントの検討やアセスメントに基づく指導内容等の協議を行う事例検討を実施し、実践的な指導力を養うとともに、リーダー教員同士のネットワークの構築を図っています。

今後は、各地域でリーダー教員が中心となり、通級指導担当者のネットワークや研修体制を整備することが求められます。



表2 令和6年度 通級指導専門性向上研修一覧

第1回 通級による指導の制度と担当者の専門性及び役割 北海道教育大学札幌校准教授 山下 公 司 氏	第8回 アセスメントに基づく指導・支援の実践② ～読み書きに困難のある子どもへの支援 北海道教育大学旭川校准教授 蔦 森 英 史 氏
第2回 心身の発達過程と発達課題－社会性の発達を中心に－ 北海道教育大学旭川校教授 片 桐 正 敏 氏	第9回 アセスメントに基づく指導・支援の実践③ ～不器用さや感覚・運動に困難のある子どもへの支援 北海道教育大学札幌校准教授 池 田 千 紗 氏
第3回 校内支援体制における通級指導担当者の役割 北海道教育大学釧路校准教授 田 中 雅 子 氏	第10回 アセスメントに基づく指導・支援の実践④ ～コミュニケーション、感情や情緒のコントロールに困難のある子どもへの支援 北海道教育大学旭川校教授 片 桐 正 敏 氏
第4回 行動・ふるまいの解釈と支援 北海道教育大学旭川校教授 萩 原 拓 氏	プラス1 アセスメントに基づく指導・支援の実践⑤ ～算数に困難のある子どもへの支援 松本大学教育学部学校教育学科専任講師 山 本 ゆ う 氏
第5回 個別的教育支援計画を活用した関係機関との連携及び引継ぎ 北海道教育大学釧路校准教授 田 中 雅 子 氏	オンデマンド① 発達障がいを取り巻く教育の現状 北海道教育大学函館校教授 細 谷 一 博 氏
第6回 個別の指導計画作成と活用及び通常の学級との連携 北海道教育大学札幌校准教授 山 下 公 司 氏	オンデマンド② 二次的な問題の理解と基本的な対応 北海道教育大学釧路校准教授 戸 田 竜 也 氏
第7回 アセスメントに基づく指導・支援の実践① ～対人関係や社会性に困難のある子どもへの支援 北海道教育大学札幌校准教授 齊 藤 真 善 氏	オンデマンド③ 家族・保護者への支援と協働 北海道教育大学釧路校准教授 戸 田 竜 也 氏

※研修の一部は右上の二次元コードから視聴可能

5 おわりに

インクルーシブ教育システムの推進に向けては、子ども一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、連続性のある多様な学びの場を整備することが求められており、通常の学級に在籍し、障がいの特性に応じた特別の指導を受けることができる通級による指導の役割は今後一層重要となります。

道教委では、本道の地理的条件を踏まえ、巡回指導を活用した通級による指導の効果的・効率的な取組を推進し、その成果を広く普及することを通して、通級による指導の充実を図ってまいりたいと考えています。